

(別紙1)

## 夜間緊急時の連絡・対応マニュアル

緊急連絡の原則は、①夜勤者→当番(待機)看護師→医師 ②夜勤者→施設長 ③夜勤者→生活相談員→家族であるが、緊急性に応じて生命の危険が差し迫っている場合は速やかに救急車出動要請を行う。

### ◆内科的急変時

待機Nsへ連絡し指示を受ける。(※詳しく状態報告すること)

例：顔色・意識レベル・バイタルサイン等(熱・血圧・脈拍・呼吸数・SPO2)

### ◆外科的急変時

待機Nsへ連絡し指示を受ける。(※詳しく状態報告すること)

例：外傷の有無及び程度・顔色・意識レベル・バイタルサイン等(熱・血圧・脈拍・呼吸数・SPO2)

## 1. 救急車を呼ぶ

①119に電話をかけ、「救急車お願いします」と伝える

例：性別・年齢・容体(状況・意識の有無・出血部位等)

②住所、電話番号を伝える

・住所：武蔵村山市伊奈平4-10-2

・電話：042-531-3741

③「正面玄関でお願いします」と伝える

※救急車を要請したことを、守衛(内線：151)にもしっかり伝えること。

(緊急時に救急車出動を要請した場合)

### ●電話連絡の順

1. 夜勤者→施設長

2. 夜勤者→生活相談員→家族に連絡

●救急車が来るまでの準備

- ①医務室より個人カルテ及び対象者分の記録（引継ぎ時、Nsが使用しているファイル）を外し、病院に持参する。→必ず持ち帰ること！
- ②医務室から健康保険証及び現金入クリヤーケースを持っていく。→必ず持ち帰ること！
- ③救急隊員にそれまでの経過（状態）を観察し、到着後報告、同行する  
※介護職員1名が病院まで付き添う（→帰園時はタクシーを使用）
- ④生活相談員へ引継を行う。